



# す 舞 る

## special support smile 舞鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀4の1（〒624-0812） ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

## アセスメントから支援に

今年は未だ雪が降らず暖冬が続く中、1月8日には春一番を思わせるような強風で警報が発令され臨時休校になりました。異常気象を実感する中での3学期の始まりでした。

平素よりトータルサポートセンター（TSC）の活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。TSCの教育相談が先生方の役に立ち、子どもに届く支援につながったか検証するため、教育相談3か月後の状況を電話で伺っています。短期間で子どもの様子が大きく変化することは少ないのですが、教育相談をきっかけに特性に応じた支援や取組が広がってきたと嬉しい報告を受けています。更に取組を進めるために継続した相談の依頼もありました。また、次のステージに向けた移行支援のための相談もあります。アセスメントからより具体的な支援につながる教育相談にしていきたいと思えます。今後とも電話聴取に御協力ください。

## TSC活動の中間報告

12月末現在で教育相談の延件数は182件、その内新規は108件でした。内訳は以下のとおりです。

新規相談の校種別件数

就学前	小学校	中学校	高等学校	その他
6	44	12	1	45

新規教育相談の主たる相談内容の件数

学習	生活・コミュニケーション	研修	その他
46	17	0	45

相談の形態は巡回教育相談が85%、来校相談が13%、電話相談が2%でした。

## 移行支援～アセスメント票の活用～



昨年度TSCではアセスメント票を改訂しました。困っている子、気になる子の実態と課題を整理するために、アセスメント票を活用していただいていると思います。TSCの教育相談の資料としてだけでなく障害の特性に気づき、整理するためにも活用していただけます。3学期は次の学年やステージへの移行支援資料として支援が継続するように取組を評価してください。有効だった取組だけでなくうまくいかなかった取組も具体的に記入します。今年度の取組を次年度の支援につなぐためにも記録を残していきましょう。

先日「舞鶴支援学校地域特別支援連携協議会」を開催し、機関連携について協議をしました。

## 専門性を生かした機関連携～相互理解と信頼関係～

今回は療育や医療の専門家が就学前教育機関や小学校に出向いて障害がある子どもを支援する「**保育所等訪問支援**」事業の取組をとおして関係機関の連携について協議をしました。

はじめに事業の概要を舞鶴市健康子ども部から説明をしていただきました。「この事業は保育所等(学校を含む)に通う障害がある児童が集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合、通い先の施設等を訪問支援し、保育所等の安定した利用を促進するためのものである。児童本人への直接指導、保育所等のスタッフに対する間接支援を行う。保護者の申請に基づき手続きを行い、利用料は応能負担となる。」

次にこの事業を行っている舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園から保育所の事例、舞鶴こども療育センターからは小学校の事例を報告していただきました。



その後参加の委員で質問や意見交換をし、機関連携について協議をしました。医療や療育から保育・教育の現場に出向いての指導・支援は異業種間の子どもの捉え方やアプローチ方法の違いの理解、事前調整の煩雑さ等の難しさがある。実態とは異なる高い保護者ニーズについて専門機関が間に入ることで整理され現場と保護者が子どもの実態を客観的に共有することができた等の成果が報告されました。

個別に対応する医療や療育の場、集団での指導を行う教育の場、それぞれの場で見せる子どもの姿は違います。関係機関の連携を通じてそれぞれの場で示す子どもの姿を共有し相互の専門性を生かした支援を行うことが求められています。保護者、本人のニーズに応じた支援を行うために異業種間の文化の違いを超えて、それぞれの専門性を生かしてできることを進めることが大切だと思います。そのためには現在行われている他機関での取組をお互いが知り、理解することが機関連携につながる第一歩になるのではないかと思います。

## 合同研修会～自立活動の実践報告～

今年度第2回の特別支援教育合同研修会を12月5日に行いました。今年度のテーマである『自立活動』を校種別の実践報告から学びました。就学前からはコミュニケーション力育みルーム「なかよしルーム」、小学校からは特別支援学級、中学校からは通級指導教室、特別支援学校からは療育指導の実践報告がありました。その後京都府専門家チームの奥村康枝先生から講評と「自立活動の指導について」、御自身の通級指導教室での実践事例をとおしての講義でした。当日アンケートでいただいた次年度学びたい内容は今後の研修計画に生かしていきます。以下、感想を記載します。

- ・自立活動についての基本的な捉え方と実践事例、指導の内容があり大変わかりやすかった。他校種の自立活動の取組がわかりよかった。
- ・しっかりアセスメントをしてその子に合わせた教育を行うことの大切さがよくわかった。
- ・判断仮説、指導仮説を立ててつきたい力を明確にして取り組むことの大切さを考える機会になった。

